

麻生区区民会議 第11回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成25年8月5日（月）午後7時00分～午後8時40分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[企画部会委員]

金光部会長、田中副部会長、石井委員、菅原委員、高倉委員、東川委員
(欠席) 村主委員

[事務局]

鈴木企画課課長、白石担当係長、麻生

4 傍聴者 1名

5 配布資料

- ・資料1 安全・安心のまちづくり部会議事要旨
- ・資料2 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨
- ・資料3-1 第5回麻生区区民会議 資料(案)
- ・資料3-2 // 企画部会資料(案)
- ・資料3-3 区民会議ニュースVOL3
- ・資料4-1 区民会議フォーラム 概要
- ・資料4-2 // 役割分担
- ・資料4-3 // 配置図
- ・資料4-4 // アンケート(案)
- ・資料4-5 // 案内記事(麻生区HP・市政だより)
- ・資料5 地域メディア掲載記事

6 議 事

(1) 安全・安心のまちづくりの進捗状況について

高倉副部会長より、第10回安全・安心のまちづくり部会の報告がなされた。

- ・フォーラムの展示ブースは、田中委員、長谷川委員、吉田委員が担当し、家具の固定器具の紹介などを検討している。
- ・モデル事業の対象グループについて、地域メディア紙、公共施設でのチラシ配布、ホームページにて募集を行っている。
- ・モデル事業の内容、進め方を十分に審議する必要があるため、8月は安全安心部会を2回開催する。(8月12日、21日を予定)

【主な意見】

- ・安全・安心まちづくり部会の会議の中で、若者部会の進捗状況の報告がされていないので、お互いの部会の進捗状況を知る意味でも企画部会の報告の場面を入れてほしい。
- ・モデル事業の説明を受けた町会から、1グループで10軒集めるという点で、負担が大きすぎるという声があがった。モデル事業をどのように進めるのか、具体的な中身が不明瞭では、周囲の世帯を誘い合わせることはできないのでは。
- ・実際に家に立ち入って作業することを考えると、抵抗を感じる方が多いのではないか。モデル事業に関心を示した方には丁寧に対面で説明する必要があったのでは。

- ・モデル事業の受け入れが積極的に進まない背景には、高齢者対策などの市の事業のイメージでモデル事業を捉えてしまうという申し込み側の思い違いもある。
- ・企画部会は舵取り役。今後、モデル事業をどのように進めたらいいのか、若者部会から客観的な意見を聞くのも一つの方法。
- ・大震災の被害で一番大きいのは火災。消火器の準備等の対策が考えられるが、消火器には投てき型など一般に知られていない種類もある。家具転倒防止と同様に火災対策は最優先テーマの一つでもあるので、こちらの審議も進めていきたい。

(2) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の進捗状況について

石井部会長から、ヒアリング実施状況について中間報告がなされた。

- ・「芸術・文化のまちづくり」グループは、和光大学、区役所地域振興課、麻生市民館、市文化財団にてヒアリングを実施。市文化財団のヒアリングの中で文化担当官や文化会議について参考となる意見が出たため、提言内容の柱にすることを検討している。また、フォーラムの中でヒアリングした各団体がフリーディスカッションできる場を設け、具体的な意見交換をしたらどうかとの意見が出た。
- ・「子育てしやすい環境づくり」グループは、子育てサロン「はとぼっぼ」のヒアリングを実施。保護者が安心して預けられる場を麻生区独自の保育方法ができるか検討。行政で取組が行われていない部分を区民会議で補完し、要望につなげていく。今月の部会でNPOコッコロ代表である菅原委員に岡上地区の子育て支援センターの取組内容を紹介して頂き、今後の審議を進めていく。

(3) 第5回全体会議について

事務局より資料をもとに説明。承認を得た。

(4) 区民会議フォーラムの開催について

事務局より資料をもとに説明。

- ・区民会議委員の紹介の場面の変更について、次のとおり承認を得た。
→部会（企画部会含む）ごとに部会長がメンバーの名前を呼び、名前を呼ばれた委員は前に整列する。
- ・フォーラムアンケートは、安全・安心部会にて検討し、作成する。
- ・区民会議フォーラムの広報活動について
→ホームページ、市政だよりにて周知。自主防災組織本部長へも危機管理担当から案内する予定。
→今月の専門部会にて、フォーラムのチラシ、ポスターを配布。委員がそれぞれのつてを頼って広報活動を行う。